

## 入札公告（説明書）

令和5年8月10日  
東日本高速道路株式会社 北海道支社  
支社長 堀 圭一

一般競争入札について公告します。

なお、本件競争入札については、あらかじめ東日本高速道路株式会社（以下「NEXCO 東日本」という。）が配布した入札者に対する指示書、仕様書等の契約図書その他関係法令に定めるもののほか、この『入札公告（説明書）』及び『共通入札公告（令和5年5月版）』（以下「共通入札公告」という。）に記載のとおり実施します。

よって、本件競争入札に参加する者は、『共通入札公告』の2-2-1.に示す契約図書について内容を十分に確認し、その内容を承諾のうえで本件競争入札に参加してください。

### 調達手続の概要

- |                 |   |
|-----------------|---|
| 1. 契約件名（工事名）    | 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事<br>【調達機関番号：417 所在地番号：01 品目分類番号 41】  |
| 2. 工事内容         | 工事場所、数量及び工期等については、別添『特記仕様書』、<br>『金抜設計書』、『設計図書』を参照のこと  |
| 3. 契約責任者        | NEXCO 東日本 北海道支社 支社長 堀 圭一  |
| 4. 契約担当部署       | NEXCO 東日本 北海道支社 技術部 調達契約課<br>(住所) 〒004-8512 札幌市厚別区大谷地西 5-12-30<br>(電話) 011-896-5777<br>(mail) ki-r-hokkaido@e-nexco.co.jp |
| 5. 入札方法         | 電子入札または郵送入札   |
| 6. 契約書の作成       | 必要（作成方法については落札者と協議する）…入札者に対する指示書[30]を参照のこと  |
| 7. 支払条件         | 前金払の有無：「有」<br>部分払の有無：「有」  |
| 8. 競争参加資格要件等    | 本書『競争参加資格要件等一覧表』のとおり  |
| 9. 競争参加資格の確認    | 事前審査方式  |
| 10. 入札手続き日程     | 本書『入札手続き日程』のとおり   |
| 11. 指名併用理由      | ※本件競争入札においては非該当   |
| 12. 設計業務成果品等の貸与 | 指示書[7]②に示す閲覧資料の有無：「有」   |
| 13. 材料価格等の閲覧    | 閲覧資料の有無：「有」   |
| 14. 見積活用方式の有無   | 「無」   |
| 15. その他         | 週休2日推進工事、工事工程表開示試行工事、I C T 対象工事、カーボンニュートラル試行工事（受注者の提案によるカーボンニュートラルに資する取り組みを推進するもの。取り組みを実施した場合は、しゅん功時の工事の成績評定において加点を行う。）   |

以上

## 入札手続き日程

入札公告日		令和5年8月10日
1	審査基準日	下記3.に示す「競争参加資格確認申請書」の提出期間の最終日
2	契約図書の配布期間	<b>入札公告の日から令和5年8月25日まで</b> 上記期間を過ぎるとダウンロードできないので注意すること。
3	競争参加資格確認申請書の提出期限	<p><b>【提出期限】</b>  <b>入札公告の日から令和5年8月25日 16時00分まで</b>  ※共通入札公告 2-3-1～2-3-4 に示す調達手続に参加するための条件等を十分に確認のうえ提出すること。</p> <p><b>【提出方法】</b>  [電子入札の場合]  入札者に対する指示書【電子入札】[9]に従い、電子入札システムにより提出すること。  なお、提出書類が添付可能な総容量(3MB)を超える場合は、入札者に対する指示書【電子入札】[9] [2] (6)に示す方法により提出すること。  [郵送入札の場合]  入札者に対する指示書【郵送入札】[9]に従い、書留郵便等または電子メール(資格審査アドレスまたは担当者アドレスに限る、以下同じ)により提出すること。郵送の場合の提出部数は2部とする。</p> <p><b>【提出書類】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 競争参加資格確認申請書様式1</li> <li>(2) 競争参加資格確認申請書様式2</li> <li>(3) 共同企業体協定書案【共同企業体を構成する場合】</li> </ul>
4	競争参加資格確認結果通知日	<b>令和5年9月7日を予定</b>
5	競争参加資格がないと認めた理由の説明請求期限日	競争参加資格確認結果の通知日の翌日から7日以内(休日除く。)
6	技術提案書の提出期限	<p><b>【提出期限】</b>  <b>令和5年9月22日 16時00分</b>  ※共通入札公告 2-3-5 に示す技術提案書に関する事項及び別添「技術提案書作成説明書」を十分に確認のうえ提出すること。</p> <p><b>【提出方法】</b>  書留郵便等または電子メールにより提出すること。なお、書留郵便等により提出する場合は、2部を提出すること。</p>
7	技術(業務)提案書に関するヒアリング期間	<p><b>【実施期間】</b>  <b>令和5年9月28日から令和5年10月12日までを予定</b></p> <p><b>【実施場所】</b>  NEXCO 東日本 北海道支社 会議室 又は Web会議システム</p>

8	改善技術(業務)提案書提出期限	<p><b>【提出期限】</b>  <b>令和5年10月19日 16時00分</b></p> <p><b>【提出方法】</b>          書留郵便等または電子メールにより提出すること。なお、書留郵便等により提出する場合は、2部を提出すること。</p>
9	技術(業務)提案書の採否通知日	<b>令和5年11月2日を予定</b>
10	参考見積書の提出期限	本件競争においては非該当
11	参考見積書に関する問い合わせ期間	本件競争においては非該当
12	訂正参考見積書提出期限	本件競争においては非該当
13	入札書の提出期限	<p><b>【提出期限】</b>  <b>令和5年12月5日 16時00分</b></p> <p>※『共通入札公告』の2-4-1.に示す入札に必要な書類を十分に確認のうえ提出すること。</p> <p><b>【提出方法】</b></p> <p>[電子入札の場合]          入札者に対する指示書【電子入札】[12]から[17]に従い、電子入札システムにより提出すること。          なお、入札ボンド（原本）を別途、書留郵便等により提出すること。</p> <p>[郵送入札の場合]          入札者に対する指示書【郵送入札】[12]から[17]に従い、書留郵便等により提出すること。          なお、入札ボンド（原本）を同封のうえ提出すること。</p>
14	開札日時	<b>令和5年12月6日 10時00分</b>
15	開札場所	本書『調達手続の概要』3. 契約担当部署（以下、契約担当部署）
16	本件競争入札に関する質問受付期間	<p><b>【受付期間】</b>  <b>入札公告の日から令和5年11月21日 16時00分まで</b></p> <p><b>【受付方法】</b>          質問書面（様式自由）を電子メール又は書留郵便等（書留郵便等による提出方法の詳細は、入札者に対する指示書の冒頭「お知らせ」を参照のこと。）により行政機関の休日（以下、「休日」という。）を除く毎日16時までに提出すること。</p> <p><b>【受付場所】</b>          本書『調達手続の概要』4.に示す契約担当部署</p>
17	質問に対する回答期間	質問書受領日の翌日から原則として5日以内（休日を除く。）

18	資料の閲覧（貸与）期間 (設計業務成果品等)	<p><b>【閲覧（貸与）期間】</b>  <b>入札公告の日から令和5年12月4日までを予定</b>          (休日を除く日の10時00分から16時00まで)</p> <p><b>【貸与場所】</b>          〒004-8512 札幌市厚別区大谷地西5-12-30          NEXCO 東日本 北海道支社          ※閲覧（貸与）を希望する場合は、契約担当部署に連絡し、指示に従うこと</p> <p>※貸与方法等の詳細は、『共通入札公告』の2-5-11.に示す設計業務成果品等の貸与のとおり。</p>
19	資料の閲覧期間 (材料価格等)	<p><b>【閲覧期間】</b>  <b>令和5年8月28日から令和5年12月4日を予定</b>          (休日を除く10時00分から16時00分まで)</p> <p><b>【閲覧（貸与）場所】</b>          〒004-8512 札幌市厚別区大谷地西5-12-30          NEXCO 東日本 北海道支社          ※閲覧（貸与）を希望する場合は、事前に本書『調達手続の概要』4.に示す契約担当部署に連絡し、指示に従うこと</p> <p><b>【閲覧内容】</b>骨材、生コンクリート  <b>【閲覧方法】</b>書面にて閲覧</p>

※各提出書類については、交付図書及び入札者に対する指示書の様式をお使いください。

※各文書について、電子メール、書留郵便等による提出方法の詳細は、入札者に対する指示書の冒頭「お知らせ」を参照のこと。受付期限内に提出のない場合や、普通郵便、持参、ZIPファイル形式による提出は受け付けない。(16.入札に関する質問受付期間【受付方法】電子メールについては、送付アドレスの限定はない)

競争参加資格要件等一覧表

工件事件名		道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事	
調達手続の概要	競争契約の方法	一般競争	
	落札者の決定方法	総合評価落札方式	技術提案評価型
	評価値の算出方法	加算方式	
	見積活用方式の有無	無	
	入札ボンド	対象	
	履行ボンド	対象	
	JV募集対象	対象	
審査時期		事前審査	
競争参加要件	工事種別等	必要とする競争参加資格	①「令和 5・6 年度競争参加資格」を有する者であること。
			②弊社発注工事において、令和3・4年度の工事種別(土木工事)の工事成績評定点の各年度の平均点が2年連続で65点未満でないこと。
		工事種別	土木
	施工実績	等級	Ns、又は、Ns又はNで構成する2者JV、又は、Ns又はNで構成する3者JV
		対象となる施工実績	平成20年度以降に元請として完成及び引渡しが完了した下記の施工実績 a) NATM工法により施工した内空面積(代表値)70m <sup>2</sup> 以上であるトンネル工事
		同種工事	ただし、当該工事を共同企業体の構成員として施工した場合は、出資の割合(出資比率)が20%以上である場合に限り企業の施工実績として認める。  特定JVの代表者があつては「同種工事」を、特定JVの代表者以外の者があつては「同種工事」又は「同種工事(緩和)」の施工実績を有するもの。 なお、すべての構成員が2者JVの場合は30%以上、(3者JVの場合は20%以上)の出資比率を有し、かつ代表者の出資比率が構成員中最大であること。
		同種工事(緩和)	a) NATM工法により施工したトンネル工事  ただし、当該工事を共同企業体の構成員として施工した場合は、出資の割合(出資比率)が20%以上である場合に限り企業の施工実績として認める。
	納入実績等	同種機器	-
		支援体制	-
地域要件等		-	
本工事における競争参加資格未資格者	設計業務等の受注者	業務名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル詳細設計	受注者名) ㈱建設技術研究所
		業務名) 道東自動車道 下トマム地区道路詳細設計	受注者名) ㈱オリエンタルコンサルタンツ
	施工管理業務の受注者	業務名) 令和 5 年度 道東自動車道 占冠工事区施工管理業務	受注者名) 道東自動車道占冠工事区施工管理業務施工管理共同体【信和設計㈱・㈱パートナーズ】
	その他		
継続契約方式の対象		対象外	対象となる後発工事名(その1) 対象となる後発工事名(その2)

技術評価を行うため入札者に提出を求める技術提案書に係る評価項目、評価基準及び配点は次のとおりとする。

技術提案評価型			技術評価点(満点)	30点																				
評価項目			評価点	配点	履行確認対象項目																			
技術提案	性能・機能等	性能・機能（施工計画）	覆工コンクリートの品質向上に関する留意点と対応策の提案	15点	○ 30点 ○																			
	自由設定項目	自由設定項目	工事用道路造成、すり処理運搬時の安全管理における生産性向上に関する提案	15点																				
評価項目					評価基準																			
<p>評価は、評価項目毎に各評価者が下表の評価基準に基づき行い（採否及び評価点の付与）、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術評価項目の評定点とする。（小数第4位以下切捨て）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価基準</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>内容が具体的で確実な効果が期待できる優れた提案である</td> <td>15点</td> </tr> <tr> <td>良上</td> <td>優と良の中間の提案である</td> <td>12.25点</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>内容が具体的で効果が期待できる優れた提案である</td> <td>7.5点</td> </tr> <tr> <td>良下</td> <td>良と可の中間の提案である</td> <td>3.75点</td> </tr> <tr> <td>可（評価無）</td> <td>内容が標準案と同程度であり効果が期待できない提案である</td> <td rowspan="2">0点</td> </tr> <tr> <td>提案無</td> <td>技術提案書に技術提案を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している。</td> </tr> <tr> <td>不採用</td> <td>技術提案が不採用となり、かつ、不採用の場合に標準案による施工の意思を示している。</td> <td>0点</td> </tr> </tbody> </table>		評価	評価基準	評価点	優	内容が具体的で確実な効果が期待できる優れた提案である	15点	良上	優と良の中間の提案である	12.25点	良	内容が具体的で効果が期待できる優れた提案である	7.5点	良下	良と可の中間の提案である	3.75点	可（評価無）	内容が標準案と同程度であり効果が期待できない提案である	0点	提案無	技術提案書に技術提案を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している。	不採用	技術提案が不採用となり、かつ、不採用の場合に標準案による施工の意思を示している。	0点
評価	評価基準	評価点																						
優	内容が具体的で確実な効果が期待できる優れた提案である	15点																						
良上	優と良の中間の提案である	12.25点																						
良	内容が具体的で効果が期待できる優れた提案である	7.5点																						
良下	良と可の中間の提案である	3.75点																						
可（評価無）	内容が標準案と同程度であり効果が期待できない提案である	0点																						
提案無	技術提案書に技術提案を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している。																							
不採用	技術提案が不採用となり、かつ、不採用の場合に標準案による施工の意思を示している。	0点																						
<p>△留意事項</p> <p>① 求める評価項目に対する技術提案の全て又は一部が、本工事の設計図書に適合しない、関連法令に抵触する若しくは本工事で採用できない場合、当該技術提案を不採用とする。</p> <p>② 求める評価項目に対する技術提案の全てを不採用とした場合、提出された技術提案書で示されている不採用の場合の標準案による施工意思に従い対処するものとする。</p> <p>③ 技術提案の一部を不採用とした場合、当該箇所を除いた記載内容に対して評価点を付与する。</p> <p>④ 不採用とした以外のすべての技術提案は履行義務を負うものとする。</p> <p>⑤ 記載された技術提案が2つに満たない場合、1つの技術提案を対象に評価を行うものとし、欠格とはしない。</p> <p>⑥ 1つの評価項目に対し技術提案が2つ以上記載されている場合、記載順に2つの技術提案で評価を行い、2つを超える技術提案は加点評価対象としない。ただし、2つを超えて記載された技術提案についても採否の評価を行い、不採用とされたものを除いて履行義務を負うものとする。</p> <p>⑦ 1つの評価項目において加点評価対象とした2つの技術提案の一方を不採用とした場合、残る1つの技術提案のみを加点評価対象とする。この場合、加点評価対象以外に記載された技術提案があっても、加点評価対象として採用しない。</p> <p>⑧ 添付資料を参照しないと当該技術提案の評価が不能である場合、当該技術提案を不採用とすること。</p> <p>⑨ 技術提案の記載内容と添付資料に齟齬がある場合、添付資料は評価には用いない。</p> <p>⑩ 1つの技術提案が、1つの施工技術を用いた内容となっておらず、複数の施工技術を用いた内容であると認められる場合は、当該技術提案は評価の対象としない。</p> <p>△複数の施工技術を用いた提案の取扱い</p> <p>本工事における複数の施工技術を用いた提案は、下記の事例を想定している。</p> <p>①〇〇工事の安全対策として、□□の確保・確認を行なうことが効果的であることから、●●の実施、▼▼の実施及び■■の実施を行う提案 なお、複数の施工技術を用いた内容であると認められる場合は、当該技術提案は評価の対象としない。ただし、それぞれの施工技術が一体不可分であり、一連で機能・性能を発揮するものは、1つの施工技術とみなして評価対象とする。</p> <p>△過度なコスト負担を要する提案の取扱い</p> <p>本工事における過度なコスト負担を要する提案は、下記の事例を想定している。</p> <p>①トンネル覆工構造、コンクリートの材料等を変更するような提案 ②仕様書等の規定する基準以上の管理手法の提案 なお、評価項目に対するより優れた提案であっても、過度なコスト負担を要する提案は、過度なコスト負担を要しない提案より優位な評価とはしない。</p>																								